

Ⅱ-4 家族みんなで子どもの自律を促しましょう

エピソード

4歳の拓斗くんは、今日は何も買わないとお母さんと約束をして買い物に出掛けました。ところが店内に入ると、あたり一面にいいにおいが立ちこめています。拓斗くんがにおいの元に走って行くと、みたらし団子でした。

拓斗くんは買ってほしいと駄々をこねましたが、「今日は何も買わない約束だったね」とお母さんは取り合いません。「買って」「また今度ね」を繰り返しているうちに、拓斗くんはその場にひっくり返って泣き叫び始めてしまいました。それを見たお父さんは「団子1本くらい買ってやれば」とお母さんに言いました。すると、その言葉を聞いた拓斗くんはさらにおねだりを始め、お母さんは困ってしまいました。



Work① このエピソードで、お母さんが困ってしまったのはなぜでしょうか。

Work② あなたの家庭で、子どもの自律を促すための約束事や工夫を書きましょう。

Work③ Work②をどのようにして決めましたか。

Work④

Work②で決めたことを子どもが守れるようにするには、家族はどうすればよいでしょうか。

アドバイス

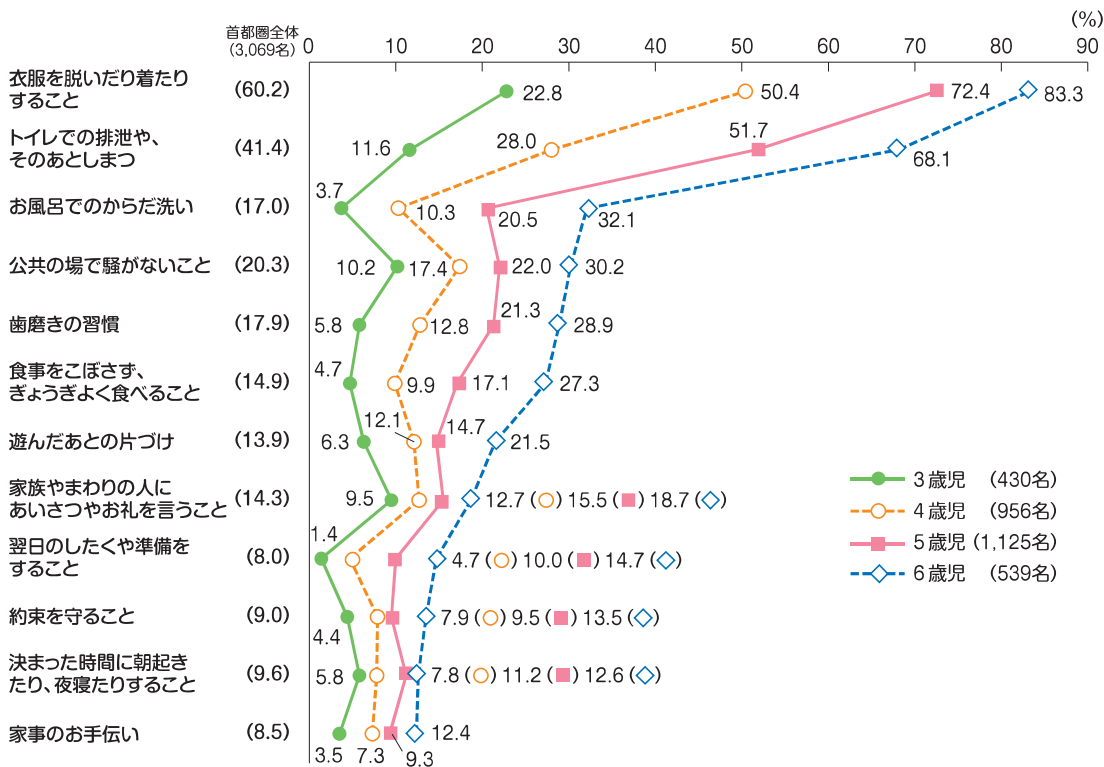
一見、身の回りのことや排泄など目に見える自立ができていようでも、心の自律はどうでしょう。行動面にばかり気をとられていませんか。下の図を見ても分かるように、お手伝いや約束事を守ることは、なかなか身に付かないようです。

子どもの自律に向けて、お手伝いや約束事などを家族全員で理解し、その日の感情でころころと変わったり、子どもの発達に合わない約束をしたりしないようにするとよいですね。



資料

* 日頃の生活習慣（首都圏全体・子どもの年齢別）*



注) 数値は「完全に一人ができる」の%。

【Benesse 教育研究開発センター 第3回子育て生活基本調査（2008年）より抜粋】